

XN-8000 シリーズ音響・振動計測ソフトウェア

## 解析データ 3次元表示手順書

---

## 初めに

### 説明の表記上の注意

- ：メニューやツールバーから開くと、クリックしていく順を表わします。
- 〔 〕：クリックして開かれたダイアログを表わします。
- 【 】：ツールボタン・アイコンなどクリックするアイテムを表わします。
- ダイアログ：アイコンをクリックしたときに開かれる設定画面のことを表します。
- オブジェクト：ペーパーに表示されているグラフや画像、テキストのことを表します。
- プロパティ：グラフオブジェクトに関する設定画面（ダイアログ）を注目していただくため、ここでは特に〔グラフ〕プロパティと表しています。

## 概要

XN-8000 シリーズ音響・振動計測処理用ソフトウェアでの解析データ「パワースペクトル」を三次元表示する手順を説明します。測定の設定は終了しているものとします。各ダイアログの設定内容は例として参考にして下さい。

## 操作手順

1. 「挿入 グラフ」をクリックします。
2. グラフ表示する範囲をドラッグします。〔グラフ〕プロパティが表示されます。
3. 〔グラフ〕プロパティの項目の設定例を次に示します。

信号名	ch1
波形の種類	パワースペクトル
	瞬時値
グラフの種類	アレイ（折れ線）

OK ボタンをクリックします。三次元アレイのグラフが表示されます。（図 1）

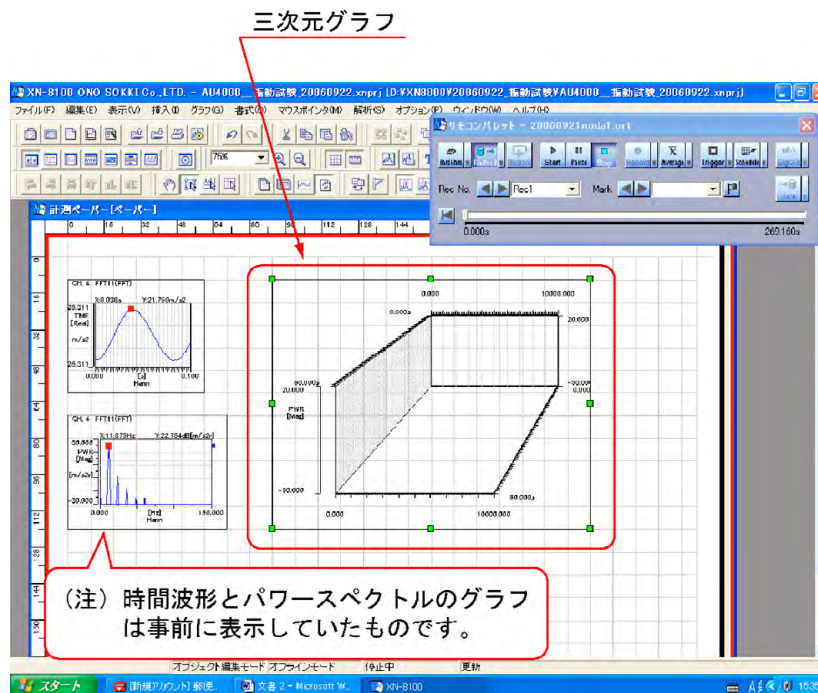


図 1

4. リモコンパレットの【Schedule】ボタンをクリックすると、〔スケジュール〕ダイアログが開きます（図 2）。
5. 「〔スケジュール〕ダイアログ データ取得毎」をクリックしチェックを入れ、OK ボタンをクリックします（図 2）。

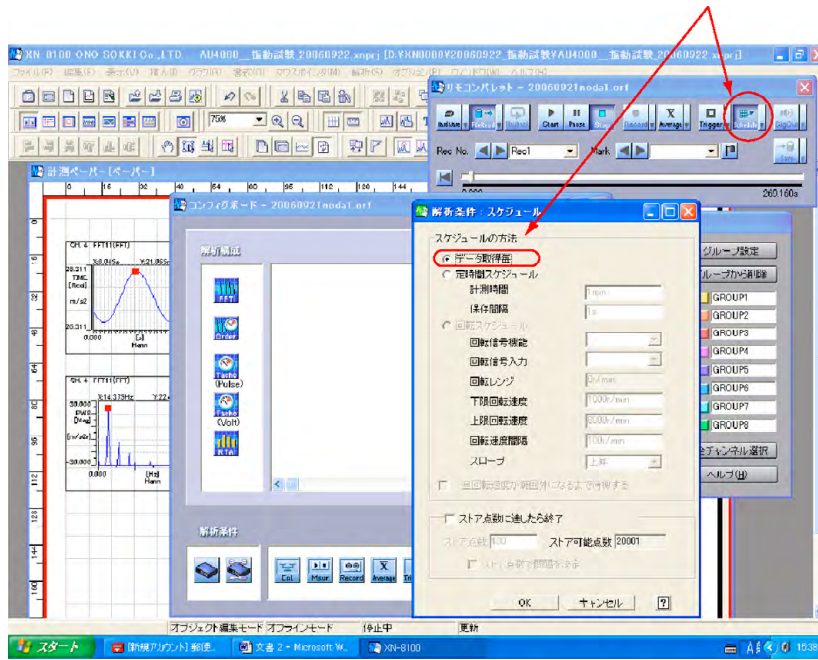


図 2

6. コンフィグボードの【X】をクリックし、コンフィグボードを閉じます。
7. リモコンパレットの【Schedule】ボタンを on します。
8. リモコンパレットの【Start】ボタンを on し、仮測定を行います（図 3）。  
データは三次元グラフとして表示されますが、X、Y、Z 軸スケールが適切でないため、次の操作で見やすくしていきます。

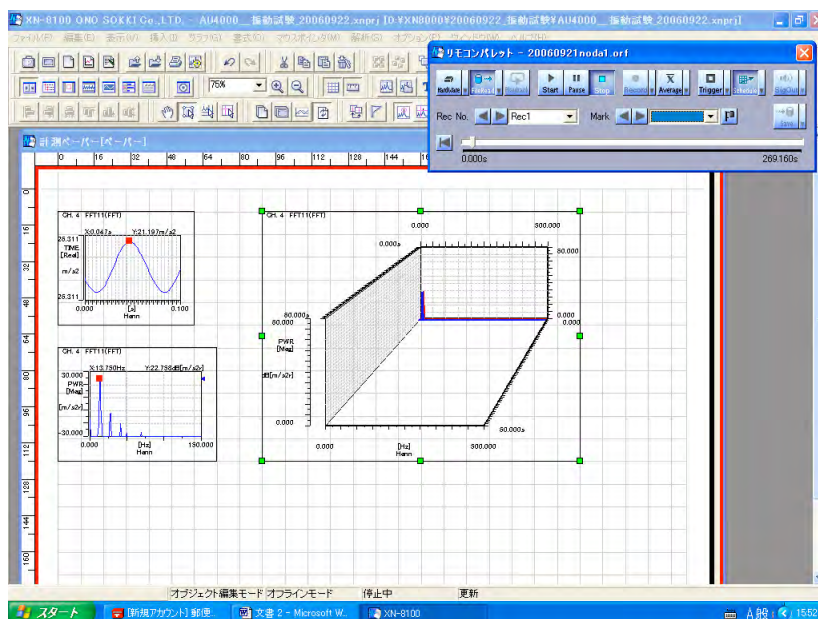


図 3

9. 三次元グラフをクリックし、続けてダブルクリックし、〔グラフ〕プロパティを開きます(図4)
10. 〔グラフ〕プロパティの X、Y、Z 軸それぞれの上限、下限値を適切に設定します。マウスを入力窓に合わせクリックし数値を設定後 適合ボタンをクリックして設定値を確定してください。図4は設定例を示しています。

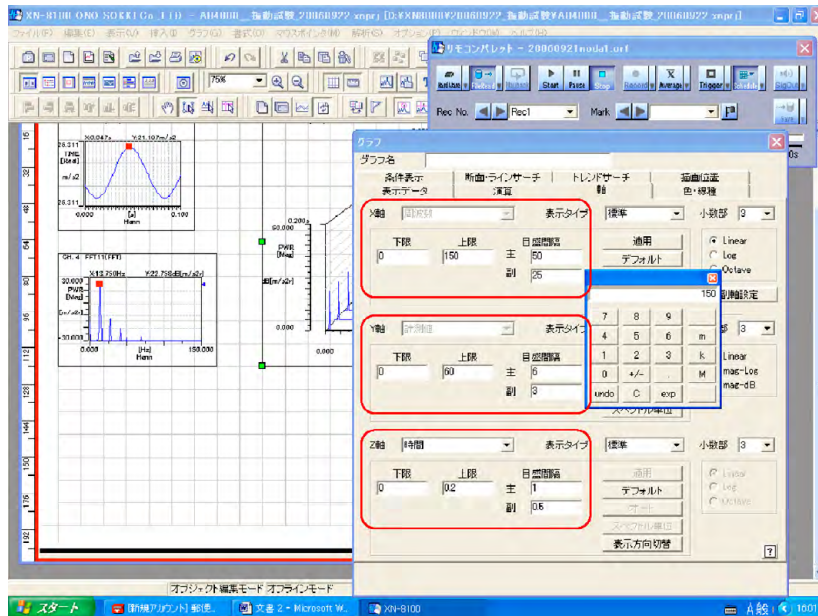


図4

11. 〔グラフ〕プロパティの【X】をクリックし〔グラフ〕プロパティを閉じます(図5)。三次元グラフが見やすくなりました。

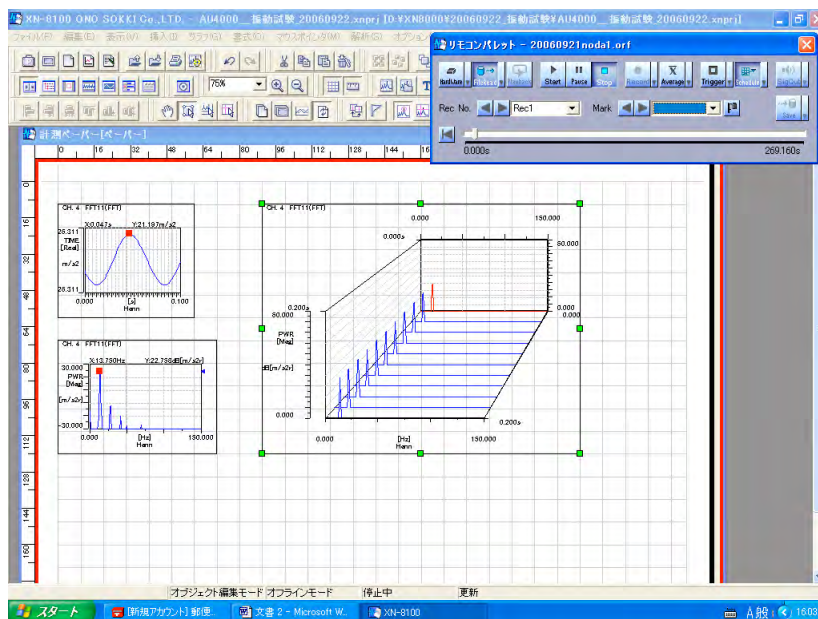


図5

12. より見やすくするため、軸の編集を行います（図6）

【軸移動】ボタンを on にします。

三次元グラフをクリックし、選択します。選択されていると枠が緑になります。

グラフの X、Y、Z 軸やそのスケールにマウスを合わせクリックしたままにすると、十字やマークに変わります。クリックしたままドラッグすると軸の移動に合わせてグラフの形が変化します。

- 十字マークのときは全体の移動が可能です。
- は軸やスケールの移動ができます。

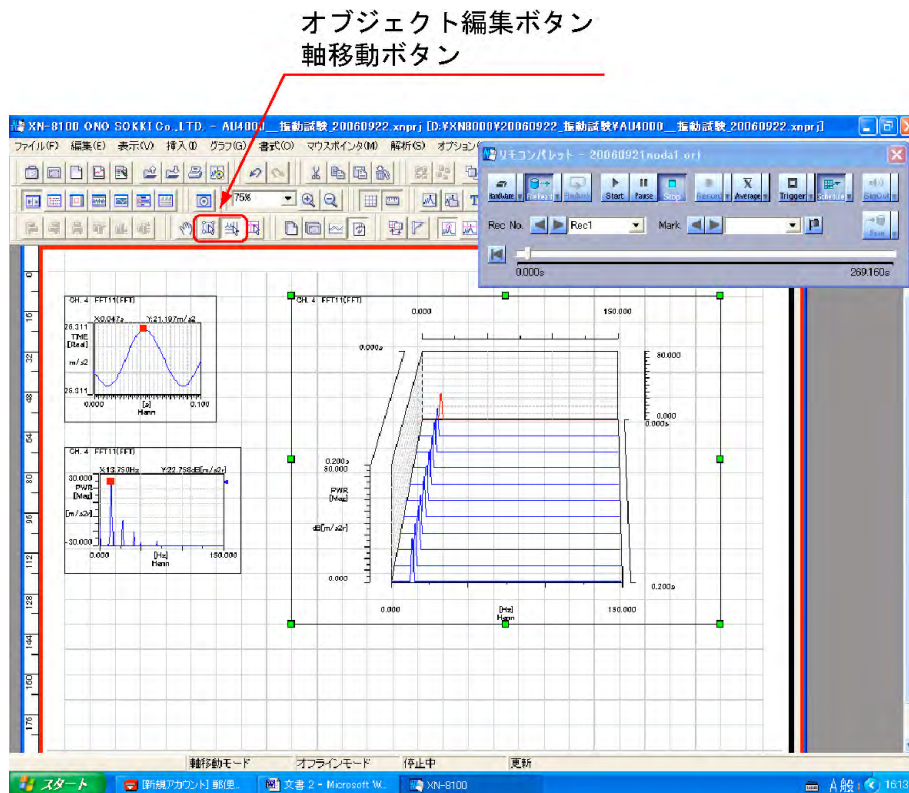


図 6

（補足説明）

グラフ全体の移動は【オブジェクト編集】ボタンを on にして、グラフをドラッグして移動します。グラフ内の編集は〔軸移動〕ボタンを on にしてから操作します。

13. スケジュールの変更

スケジュールはデータの採取に関する設定機能です。測定する時間間隔と測定時間を設定した例を次に説明します（図7）。

定時間スケジュールをクリックしチェックを入れます。10s ごとにデータを採取し、180s（3分）間測定する場合は次のように設定し、OK ボタンをクリックします。

計測時間	180s
保存時間	10s

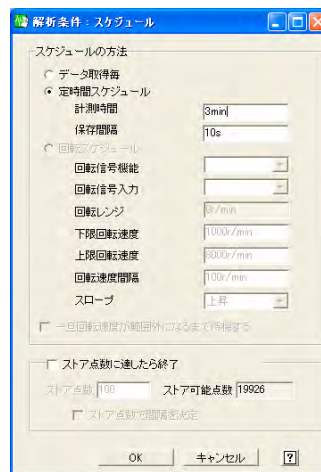


図 7

スケジュールの設定に合わせ、〔グラフ〕プロパティのZ軸のスケールを調整します(図8)。スケールの設定は測定後でも変更ができます。

【X】ボタンをクリックし〔グラフ〕プロパティを閉じます。

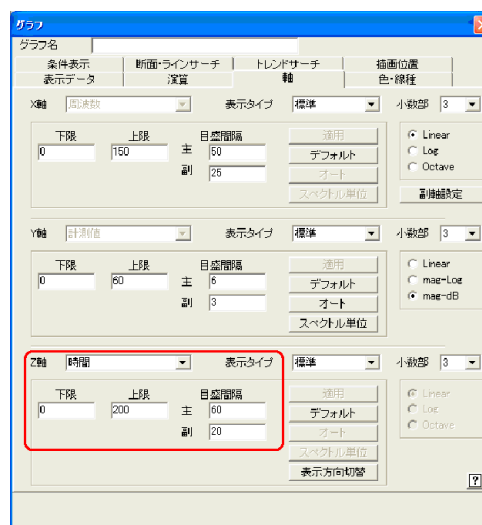


図 8

【Schedule】ボタンをクリックし、on にします。  
 【Start】ボタンをクリックし測定を開始します（図9）。

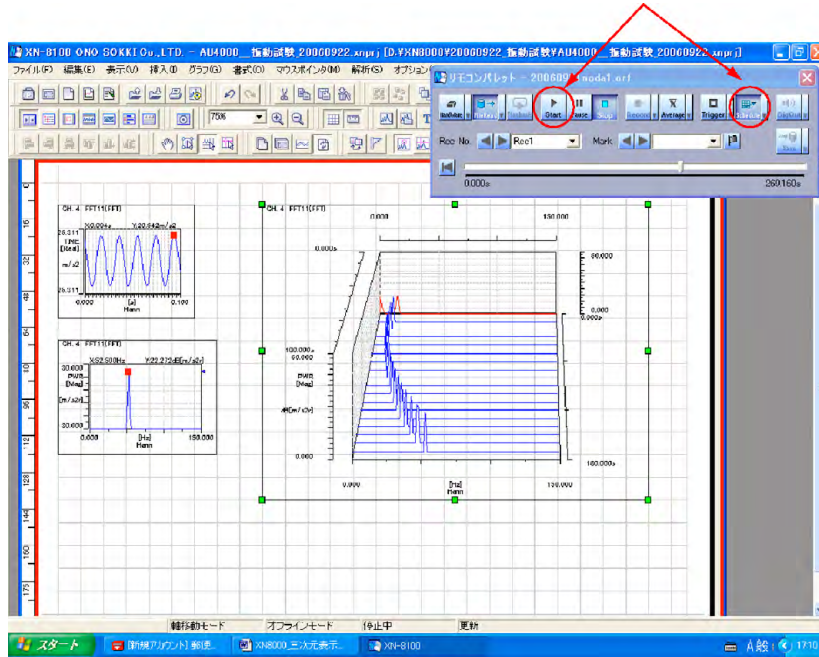


図9

14. 水平断面、垂直断面の表示

三次元表示のデータに断面図を付加することができます。

三次元グラフを右クリックし、プルアップメニューを開きます（図10）。

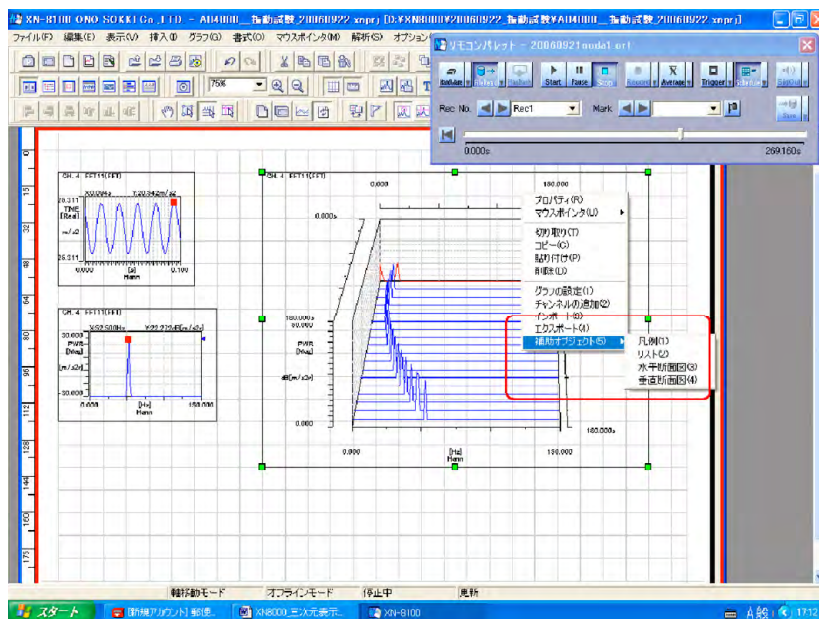


図10



「プルアップメニュー 補助プロジェクト 水平断面図」をクリックします(図 11)。  
 「プルアップメニュー 補助プロジェクト 垂直断面図」をクリックします。  
 【ラインポイント】ボタンをクリックします。ラインポイントが十字赤線で表示されます。  
 パソコンのキーボードの上下矢印キーを押すとラインポイントをZ軸で前後に移動させることができます。また、キーボードの左右矢印キーを押すとラインポイントをX軸で左右に移動  
 ラインポイントの位置の垂直、水平断面が表示されます。ラインポイントの交点の値がX、Y、Zとして表示されます。

ラインポイントボタン

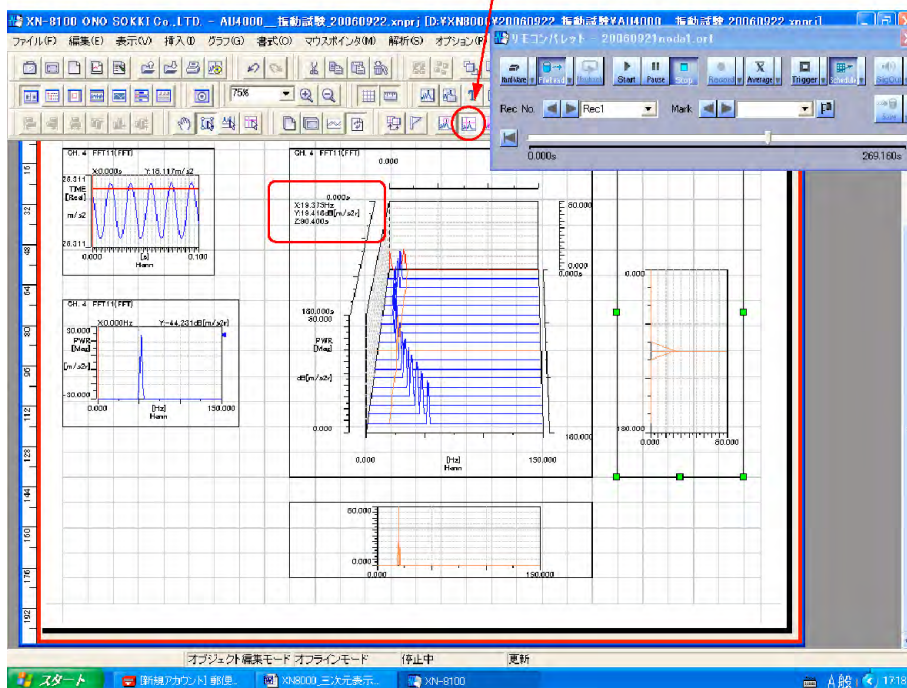


図 11